



# コミュニケーション障害児（者）への 支援に関する研究

保健福祉学部 コミュニケーション障害学科  
講師 細川 淳嗣（ほそかわ あつし）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3421号室  
Tel: 0848-60-1120 (代表) Fax: 0848-60-1276  
E-mail: hosokawa(at)pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： コミュニケーション障害

キーワード： 地域、乳幼児健康診査、遠隔医療、Information and Communication Technology、発達障害、脳機能、eラーニング

## ● 主な取り組み・活動

### 1. 発達障害に関する研究

現在は特に、文字の読み書きの障害に関して脳機能画像を使ったの原因解析研究を進めています。

### 2. 遠隔医療に関する研究

島嶼部や山間地など医療・保健・福祉資源が限られている地域でも他の地域と同じようなサービスを受けられるようにするため IT を使って言語聴覚療法を中心とした遠隔医療に関する研究を行っています。また、これらのサービスを提供するために必要な機材、ソフト、システムの開発も地元企業等と連携して行っています。

### 3. 大災害時における障害者への情報提供の研究

大災害が起きた時に障害者本人・家族、避難所などでの支援者へどのように効率的に正確な情報を提供するのかという課題について東日本大震災の時のさまざまなデータも使いながら検討をしています。

### 4. 言語聴覚士教育での eラーニングの研究

言語聴覚士教育における技能習得のための動画を中心とした eラーニング教材を作成すると共に、これらの教材と講義や演習などとの効果的な組み合わせについての実践と研究を行っています。これまでに聴力検査や小児の行動観察学習のための教材を作成しました。

## ● 今後の目標・抱負

### 1. 発達障害に関する研究

脳機能画像を使ったの発達障害についての研究を進め、原因の解明、介入・支援に資する知見を明らかにしていき臨床応用を目指したい。

### 2. ICT を用いた障害児者支援

日々新しい技術やサービスが開発されています。これらの技術が障害児者の生活やコミュニケーションを支援できるものになるように研究、社会への提案を行っていきたい。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

新しい技術が社会の中で役立つものとして存在するためには、技術の開発だけでは不十分で社会の中にどのように組み込むかという視点が必要と考えています。

その視点で研究を行うためには、地域や社会と連携して実証研究を進める必要があります。そのような視点で地域・社会と連携していければと考えています。

## ● これまでの連携事例・実績

\* 乳幼児健康診査における 5 歳児健康診査導入の際の自治体への支援とその後の運営や就学後のフォローを自治体の保健師、教育委員会と連携しています。

\* 遠隔医療分野に関して、システムの開発において ICT 関連企業との共同研究を行ったり、サービスについての実証研究を地域の事業所などと共同で行ったりしています。